

●調査対象：18歳以上の住民2,000人
●調査期間：令和7年2月14日～3月14日

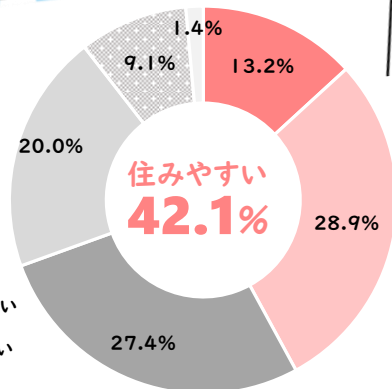
伊方町第3次総合計画・総合戦略策定に向けたアンケート調査結果

概用版



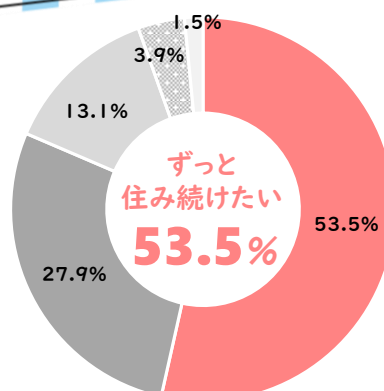
回答対象者数：970人

住みやすさ



- 住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- どちらともいえない
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい

居住意向



- ずっと住み続けたい
- いずれ町外に転居したい
- 住み続けたいが、町外に転居せざるをえない
- 町内のほかの場所に転居したい
- 無回答

伊方町に「ずっと住み続けたい」と回答した人は約半数、「いずれ町外に転居したい」と回答した人が約3割となっているね。それぞれどんな理由があるのかな。

住みたい理由 住みたくない理由

生活利便性の充実に対するニーズが高い様子がわかるね！

住みたい理由

回答対象者数：519人

- 1位 所有する家や土地がある **59.5%**
- 2位 生まれ育った場所を大切に思う（愛着がある） **51.4%**
- 3位 今の場所での生活に慣れているから **46.1%**

住みたくない理由

回答対象者数：398人

- 1位 買物などの日常生活が不便 **74.4%**
- 2位 医療や福祉に不安がある
通院等に不便 **62.3%**
- 3位 交通の便が悪い、道路整備が
充実していない **52.3%**

総合計画の認知度

総合計画のことをもっとたくさんの人に知ってもらう必要があるね…！

知っている **12.3%**

知らない **87.1%**

回答対象者数：970人



幸福度

幸福度 = $\frac{(\text{幸福感を感じる} \times 2 \text{点} + \text{幸福感をまあまあ感じる} \times 1 \text{点} + \text{普通} \times 0 \text{点} + \text{幸福感を感じない} \times -1 \text{点} + \text{幸福感を全く感じない} \times -2 \text{点})}{\text{回答者数 (無回答を除く)}}$

自然に恵まれているか

0.88

家族との関係

0.72

自然が
守られているか

0.32

ご近所との関係

0.25

子育て

0.23

健康 **0.16**

暮らし全般 **0.16**

住まいの快適さ **0.07**

仕事のやりがい **0.06**

地域のつながり
助け合い **0.05**

地域の安全・
安心 **0.05**

地域の歴史や文化
を誇りに思うこと **0.03**

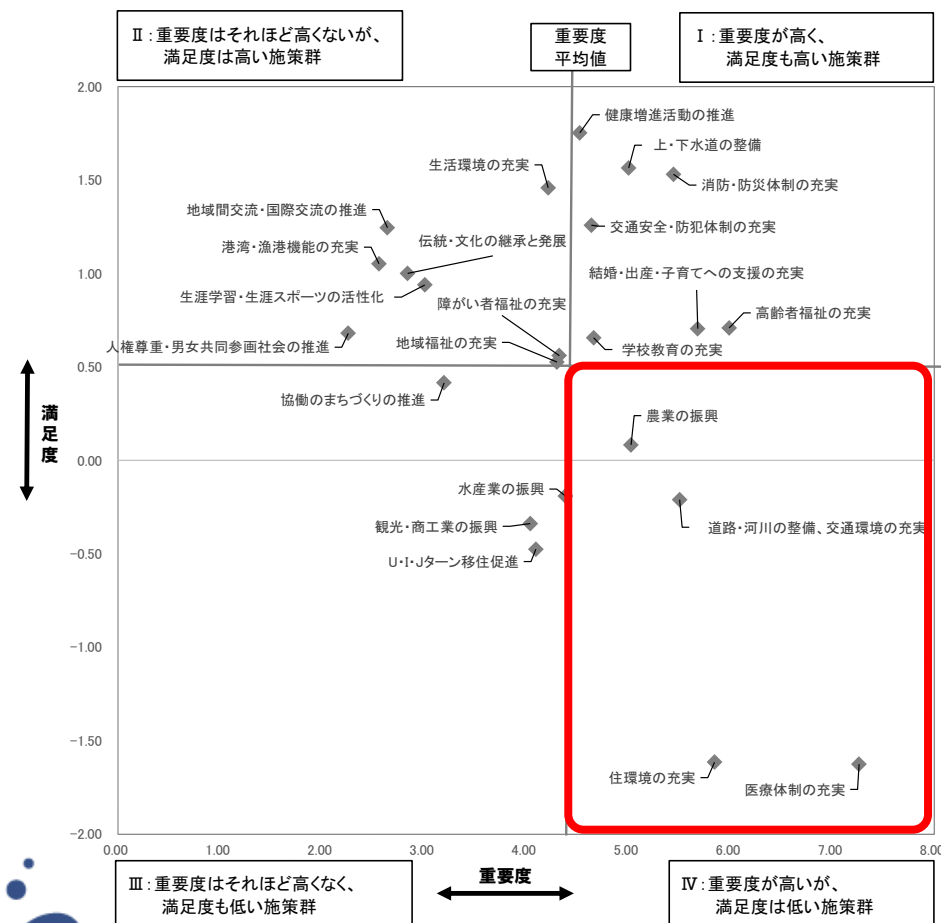
余暇の楽しみ **-0.12**

収入 **-0.26**

回答対象者数：970人

施策の 満足度・重要度

満足度・重要度 = $\frac{(\text{重要} \cdot \text{満足} \times 10 \text{点} + \text{ある程度満足} \cdot \text{やや重要} \times 5 \text{点} + \text{どちらともいえない} \times 0 \text{点} + \text{やや不満} \cdot \text{あまり重要ではない} \times -5 \text{点} + \text{不満} \cdot \text{重要度はない} \times -10 \text{点})}{\text{回答者数 (無回答を除く)}}$



重要度が高いにも関わらず、住民の満足度が低い施策はこれから重点的に取り組むべきまちの課題といえるね。

満足度
平均値

回答対象者数：970人